

# 病院に勤務する看護師のワーク・ライフ・バランスに関する現状と課題の検討

キーワード：ワーク・ライフ・バランス、看護師、文献研究

○小島さやか  
新潟青陵大学

## I 目的

ワーク・ライフ・バランス(=仕事と生活の調和。以下WLBとする)への取り組みは、日本では1990年代から始まった。経済の停滞、少子高齢化を背景に、男女雇用機会均等法・育児介護休業法・少子化対策基本法等の法整備、WLB憲章の制定等が行われている。

日本看護協会は2007年、看護職雇用確保対策として「専門職として働き甲斐のある条件の整備」と「生活者としての適切なWLBの実現」<sup>1)</sup>をビジョンに定めている。このような中で病院に勤務する看護師のWLBの現状や課題を探るべく本研究に取り組んだ。

## II 方法

1. 研究対象、調査方法：医中誌Webにてキーワードを「ワーク・ライフ・バランス」「看護師」とし、合致した原著論文は60件であった。この中から病院に勤務する看護師のWLBについて述べている論文37件を研究対象とした。研究期間は2014年7月～9月である。
2. 分析方法：対象文献を報告年・研究方法・研究対象・研究内容別に整理した。研究対象は性別・職位・部署・勤務形態・生活背景で更に分類した。研究内容は日本看護協会が看護職のWLBを計測、分析のために開発した「看護職のWLBインデックス調査」<sup>2)</sup>の構成要素に倣い「WLB支援制度(WLB推進体制、キャリア支援等)」「WLB基盤制度(労働時間、休暇等)」「個人のWLB制度の認知(健康管理、育児支援等の認知)」「個人のWLB制度の評価(仕事環境の評価等)」で4つに分類した。
3. 倫理的配慮：文献の理解は著者の意図を正確に捉えるよう努め、引用は著作権に配慮し出典を明記した。

## III 結果

報告年は最も古い文献が2007年報告(1件)であり、以降2008年(0)、2009年(2)、2010年(5)、2011年(5)、2012年(12)、2013年(7)、2014年(5)だった。研究方法は量的研究(30)、質的研究(4)、量・質両方(1)、文献研究(2)であった。研究対象の性別は男女対象(19)、女性のみ(11)、男性のみ(0)、記載なし(7)であった。職位は全看護職対象(26)、管理職対象(2)、スタッフ対象(10)であった。勤務形態は限定なし(34)、常勤者限定(1)、非常勤限定(1)、短時間勤務者限定(1)となった。生活背景は、限定なし(26)、子育て経験者(10)、未婚者(1)であった。研究内容は、「WLB支援制度」(11)、「WLB基盤制度」(20)、「個人のWLB制度の認知」(9)、「個人のWLB制度の評価」(27)だった。

## IV 考察

WLBに関する最初の看護文献が報告された2007年は、内閣府がWLB憲章を制定、看護協会がWLBの実現を目標に掲げた年である。看護協会が「看護職のWLB推進ワークショップ事業」を開始した2010年以降は更に文献数が増加していた。ワークショップ参加数は2014年度に全国合計468施設となり、看護職のWLB実現に向けた取組は徐々に広まっていると考える。

また一定の世代に特徴的な課題(仕事への適応、子育てとの両立、管理職としての部下のWLBの調整やキャリア支援など)や働き方によるWLBの相違を述べる文献も多かった。酒井ら<sup>3)</sup>は年齢階層別に「看護師としての能力向上のプロセスや職位の変化、さらにライフステージ別の要求」があると指摘しており、世代や仕事環境・生活環境によって、WLBの捉え方や望ましい支援のあり方は異なることが推察された。

4つに分類した研究内容をさらに詳細に見ると子育てと就業の両立(10)、多様な勤務形態の検討(6)、キャリア支援(5)、ストレス・疲労(3)に関する文献が多かった。子育て中の看護師にはより多くの課題があることが示唆された。中井ら<sup>4)</sup>はWLBと精神的健康の関連について「仕事と家庭生活を自ら希望するバランスで行っていけるように職場環境を整える」ことが必要と述べており、個々に合わせた多様な支援が求められる。なお、男性のみを対象にした文献は無かった。男性は看護師全体の約6%と少数だが年々増加しており、今後は男性の実態調査・支援もより求められる。

## V 結論

1. 看護師のWLBへの取り組みは、内閣府や看護協会がWLB事業を開始した2007年以降に増加している。
2. WLBは世代、性別、WLBの考え方により相違がある。ニーズに合わせた多様なWLB支援が重要である。
3. 看護師のWLBの実現に向けて、子育てと就業の両立や男性看護師への支援を考えていく必要がある。

## 引用文献

- 1) 2) 日本看護協会(編). 平成25年版看護白書. 2-3, 46. 東京. 日本看護協会出版会. 2013
- 3) 酒井一博ほか. 日本看護協会「時間外労働および夜勤・交代制勤務に関する実態調査」の自由意見欄に記載された看護師の労働・生活条件に関する訴えと改善要求. 労働科学. 2011; 87(3): 99-115
- 4) 中井正美ほか. 病院に勤務する看護師のワークライフバランスと精神的健康度の関連. 日本健康教育学会誌. 2011; 19(4): 302-312